



六中だより

令和4年度第9号（令和5年3月14日発行）

文京区立第六中学校 校長 佐藤勝也

<http://www.bunkyo-tky.ed.jp/dairoku-jh/>

【教育目標】○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

次年度に向けて ～ 卒業・進級を迎えるまえに ～

今年度も残りわずかとなりました。それぞれの学年において、今学期を中心に今年度を振り返り、新年度への準備を進めています。

この一年間においては、新型コロナウイルス感染症対策から中止や延期、規模縮小等で対応してきた学校行事や授業ほかの諸活動を、従来の姿に近付けて実施することもできました。運動会や学習発表会がそれらに当たりますが、本紙でこの後取り上げる学校関係者評価アンケートにおいても、生徒・保護者ともに評価が高い取組でした。どちらも生徒たちが仲間とともに試行錯誤しながら作り上げる行事であり、またその様子を実施当日に保護者の皆様にご覧いただけたことが、その場を共有した人たちの満足感や充実感につながったのではないかと捉えています。体験活動の大切さを再認識する機会となりました。地域や関係の方々にも、かつてのように六中の様子を直接ご覧いただける日が早く来ることを願うばかりです。

例年に比べると、この数年は部活動や委員会活動等で生徒間や学年間の交流が少なかったかもしれません。しかしながら、三年生の背中から下級生が学んだことは、決して少なくありません。最上級生が巣立った後は名実ともに下級生にバトンが受け継がれ、その日が目前に迫っています。現在、放課後などを使って一・二年生が三年生に感謝の気持ちを形にして伝える取組をしています。卒業式当日も全員で歓送します。楽しみにしててください。そして、三年生は六中を卒業することを誇りに感じ、それぞれの次のステージでより一層輝いて欲しいと思います。

「ありがとう」と「さようなら」を胸に抱き、次年度に向けて着実に進んでいきましょう。

生徒の活躍

第62回東京都中学校書き初め紙上展

(敬称略)

東京都中学校長会長賞 1年 1名

金賞 1年 2名 2年 3名

第38回防災ポスターコンクール

防災推進協議会会長賞 2年 1名 (中学2・3年生の部)

入選 2年 2名 3年 2名

第53回東京都中学校音楽創作コンクール

優秀賞 3年 1名

部活動

バドミントン部 区中学校冬季研修大会

【男子】ダブルス優勝 2年 シングルス第3位 2年

【女子】ダブルス第3位 2年 シングルス第3位 2年

一年生の部 ダブルス第3位

ボランティア部 向丘青少年健全育成会主催 地域ボランティア活動(ケーキ作り)

2年 3名 1年 3名



3月 の 予 定	13日(月)3年校外学習(ハ景島シーパ'ラダ'イ)	4月 の 予 定	5日(水)春季休業日終
	14日(火)生徒朝礼		6日(木)始業式・着任式
	16日(木)卒業式予行		7日(金)第77回入学式
	17日(金)卒業式準備(5・6校時) 3年5・6カット		10日(月)全校朝礼 給食始 学年時間割始 生徒会オリエンテーション(5校時) 部活動紹介(6校時)
	20日(月)第74回卒業式		14日(金)1年JRC登録式 学年時間割終
	21日(火)春分の日		17日(月)生徒朝礼
	22日(水)生徒朝礼 1・2年保護者会		18日(火)3年全国学力学習状況調査
23日(木)大掃除 給食終			
24日(金)修了式			
26日(日)春季休業日始			

※ 4月の予定は、現時点での第三週までのもので、変更する可能性があります。行事予定表などで改めてお知らせします。

学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございました。

以下に簡易版をお示しします。詳細につきましては、後日学校ホームページに掲載します。

1【区共通項目】

- ①とてもあてはまる ②まああてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない
⑤わからない ⑥無回答

※「肯定的評価」の数値は、⑤⑥を除いた有効回答の割合を、そのまま百分率で示しています。

	質問内容	生徒		保護者	
		肯定的	前年度比	肯定的	前年度比
区 共 通 項 目	1 学校生活・教育活動に満足している	93.4%	+0.3%	93.5%	-2.3%
	2 学校が楽しいと感じている	89.5%	-3.6%	88.6%	-0.1%
	3 生徒の人権に配慮した教育が行われている	93.7%	-1.7%	85.8%	-2.4%
	4 特色ある学校づくりに積極的に取り組んでいる	89.2%	-1.8%	81.6%	-0.2%
	5 学校の授業は、分かりやすい	93.7%	-0.5%	79.7%	+2.2%
	6 教職員は、学校生活で起きた問題に素早く適切に対応している	91.6%	-1.8%	90.5%	+0.8%
	7 教職員は、生徒の安全管理や事故防止に努めている	94.4%	-2.0%	90.5%	+0.4%
	8 学校による情報発信が積極的である	-	-	86.2%	-5.8%
	9 保護者、生徒の意見や要望を受け止め、協力して教育を進めている	-	-	81.2%	-2.4%
	10 教職員のあいさつや対応は、ていねいで適切である	-	-	96.2%	-1.9%

2【学校独自項目】

- ①とてもあてはまる ②まああてはまる ③あまりあてはまらない ④まったくあてはまらない
⑤わからない ⑥無回答

※⑤⑥を除いた有効回答(①~④の割合の合計)を、100%に換算し、百分率で示しています。

	質問内容	生徒		保護者	
		肯定的	前年度比	肯定的	前年度比
学 校 独 自 項 目	1 教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる	96.4%	-1.1%	94.6%	-4.0%
	2 教職員は、生徒の悩みや相談に親身になって対応している	94.1%	-0.7%	94.1%	-1.0%
	3 学習や行事のねらいや目標、計画は、分かりやすく示されている	94.0%	-2.4%	92.9%	-3.5%
	4 教育の年間計画は、生徒の実態やニーズに合っている	93.0%	-2.2%	89.9%	-1.2%
	5 電子黒板やタブレット端末を使用した授業は、学習効果を上げている	91.9%	+1.2%	84.3%	-1.9%

	質問内容	生徒		保護者		
		肯定的	前年度比	肯定的	前年度比	
学校独自項目	6 授業では、生徒の主体的な学びを重視している	92.6%	-2.4%	92.9%	+1.0%	
	7 授業では、言語活動や話し合い活動に積極的に取り組んでいる	91.4%	+0.1%	93.1%	-1.6%	
	8 数学の全授業で実施している少人数指導は、効果を上げている	91.9%	+5.5%	89.3%	-1.3%	
	9 英語の全授業で実施している少人数指導は、効果を上げている	91.9%	-0.3%	89.7%	+1.3%	
	10 「特別の教科 道徳」の授業は、生徒の力を伸ばし効果を上げている	86.8%	+5.8%	83.3%	-7.2%	
	11 総合的な学習の時間をはじめとした体験学習は、生徒の力を伸ばし効果を上げている	93.1%	-3.8%	90.1%	-4.0%	
	12 生徒会や委員会の活動は、生徒の力を伸ばし効果を上げている	93.5%	+3.4%	93.5%	-0.6%	
	13 部活動は、生徒の力を伸ばし効果を上げている	94.1%	+0.5%	91.5%	+0.4%	
	14 保健に関する計画・取組は、充実している	92.9%	-4.5%	92.1%	-3.1%	
	15 給食は、充実している	91.8%	-3.7%	91.4%	-6.4%	
	16 学校図書館は、充実している	90.0%	+0.2%	89.4%	-3.2%	
	17 教室や特別教室等の設備、授業で使用する教材や教具等は、きちんと整備されている	95.6%	-1.6%	96.6%	-2.8%	
	18 自主学習のための「六中応援塾」は、効果を上げている	92.7%	+0.2%	86.7%	-2.6%	
	19 進路指導は、生徒一人一人の適性や希望を生かして行われている	93.6%	-2.6%	86.5%	-2.7%	
	20 生活指導は、生徒の健全な学校生活に役立ち、充実している	91.0%	-1.3%	90.9%	-2.6%	
	21 生徒は、中学生にふさわしい規範意識を身に付けている	93.3%	-0.7%	94.1%	-1.7%	
	22 学校生活において、「いじめを許さない」雰囲気が感じられる	90.5%	-0.9%	91.8%	-2.5%	
	23 毎月の避難訓練をはじめとした安全指導は、効果を上げている	92.7%	-0.3%	94.8%	-5.2%	
	24 運動会[5月21日(土)実施]は、生徒の力を伸ばし充実していた	93.7%	-0.1%	94.9%	+1.1%	
	25 学習発表会[10月21日(土)実施]は、生徒の力を伸ばし充実していた	95.6%	-0.7%	96.1%	-1.5%	
	26 全校ソーラン[運動会にて実施]の取組は、生徒の力を伸ばし充実していた	87.2%	+3.4%	92.7%	+0.2%	
	27 「プレゼンテーション能力向上プログラム」は、生徒の力を伸ばす適切な内容であった	91.0%	-2.6%	93.9%	-2.3%	
	28 学校における新型コロナウイルス感染症対策は、適切に行われている	91.9%	-1.2%	92.1%	-3.3%	
	29 子どもを六中に入學させて良かった	-	-	96.1%	-0.6%	
	30 行事等の「YouTube」によるビデオ映像配信は、良い取組で楽しむことができた	85.5%	+12.1%	96.1%	+10.6%	
	31 学校からのお知らせである「六中だより」は、読みやすく楽しみな内容であった	88.4%	-0.6%	94.5%	-1.4%	
	32 学年ごとに発行している「学年だより」は、読みやすく楽しみな内容であった	92.1%	-0.3%	92.8%	-4.0%	
	33 家庭で取り組んでいる1日の平均学習時間(塾等を含む)			-	-	
		①120分以上…40.0%(+0.7%) ②90分以上120分未満…22.9%(+3.9%) ③60分以上90分未満…16.6%(-6.4%) ④30分以上60分未満…11.8%(-0.5%) ⑤30分未満…8.3%(+2.0%)				

3【特定の視点で特徴などについて言及します。】

(1) 区共通項目5 「学校の授業は、分かりやすい。」… 79.7%(保護者)

○「分からない」の回答が9.6%

同設問への生徒の肯定的な評価は93.7%でした。学校での授業の様子等が十分に伝えられていないことが考えられます。土曜授業公開等を活用し、授業や生徒の学習の様子をご覧いただける機会を積極的に周知するとともに、授業に関するご意見やご感想をアンケート等により把握し、改善に努めます。

(2) 区共通項目9 「保護者、生徒の意見や要望を受け止め、協力して教育を進めている。」… 81.2%(保護者)

○区平均78.6%を上回るものの、約2割は否定的な評価

保護者や生徒とのやり取りにおいて、より一層傾聴の姿勢を心掛け、保護者、生徒、学校間で合意形成を図り、集団と個それぞれを大切にされた教育が進められるよう、丁寧に対応してまいります。

(3) 学校独自項目29 「子どもを六中に入学させて良かった。」… 96.1% (保護者)

○前年度もほぼ同様の評価

運動会や合唱コンクールの満足度、教室等の設備や教材の充実、生徒が身に付けている規範意識等の質問内容においてそれぞれ9割強の肯定的な評価をいただいていること等が関係していると思われる。継続できるよう努力してまいります。

(4) 区共通項目8 「学校による情報発信が積極的である。」… 86.2% (保護者)

○前年度比を5.8%下回る

学校だよりや学年だよりによる情報発信にとられず、学校ホームページの充実やフェアキャスト(学校連絡網サービス)による即時性のある情報提供など、手立てを工夫してまいります。

また、今回の学校評価アンケートにおいて、「分からない」の回答が多かった質問内容に着目し、今後学校から発信する内容についても確認してまいります。

(5) 学校独自項目 「分からない」への回答の割合が大きい質問内容について (保護者)

○20%を超えるものについて、該当は以下のとおり

「『特別の教科 道徳』の授業は、生徒の力を伸ばし効果を上げている」(26.7%)

「自主学習のための『六中応援塾』は、効果を上げている」(28.2%)

「『プレゼンテーション能力向上プログラム』は、生徒の力を伸ばす適切な内容であった」(23.3%)

学習効果を数値化することが困難な取組については、客観的に成果や課題を捉えることが難しいところがあります。学習状況を周知することから始め、生徒の様子や変容、満足度などを発信することにより、評価につながる工夫をしてまいります。

(6) 学校独自項目2 「教職員は、生徒の悩みや相談に親身になって対応している。」… 94.1% (生徒)

○同質問内容への保護者の肯定的な評価も94.1%

7月や12月に実施している個人面談や、各学期に全学年が実施している「おしゃべりタイム」(学年教員との個人面談)などにより、生徒が直接的に話しやすい状況が設定されていることが要因の一つと考えられます。学年別回答で、89.9%~97.9%と高い評価をいただきました。

(7) 学校独自項目19 「進路指導は、生徒一人一人の適性や希望を生かして行われている。」… 93.6% (生徒)

○全学年の約3割が「分からない」と回答

学年が下がるにつれてその数値が大きくなっています。高校等の上級学校進学のための指導や面談を想定した回答とも考えられます。下学年においても自身の適性を知ることや、進学や就職等、将来の進路について考える学習機会はあるため、「キャリア・パスポート」を活用するなどして、学習過程や成長を自ら確認し、ご家庭とも共有できるようにしていきます。

(8) 区共通項目2 「学校が楽しいと感じている。」… 89.5% (生徒)

○関係があると思われる質問内容への肯定的な回答は90%強

授業の分かりやすさ、部活動や学校行事、学校生活・教育活動全般への満足度も約90%強の肯定的評価を得られています。しかし、前年度比を下回る結果について、具体的な原因を分析する必要があります。学校で、生徒はどのようなことに楽しい(または楽しくない)気持ちを抱くのか、教職員とのやり取りや生活アンケート等も手掛かりにして、生徒に寄り添った対応を継続的に行い、誰もが楽しいと感じる学校を目指します。

